

FirstGlobal メッセージ

siesta

2015.1月号 vol.140

*シエスタとは、スペイン語で『昼寝』の意味です。

リラックスしながらお読み下さい。

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

ぼくのニセものをつくるには

前回の「りんごかもしれない」に続き、同じヨシタケシンスケさんの絵本です。親から色々言われ、うんざりした「ぼく(けんたくん)」は「ぼくのニセモノをつくって そいつにぜんぶやってもらおう」と思いつき、お小遣いを全部使って、ロボットを買いました。家までの帰り道、ロボットに「ニセモノ作戦」について説明すると「じゃあ、あなた(けんたくん)のこと、くわしくおしえてください!」と言われ、自分は何なのか?自問自答します。すきなもの きらいなもの、できること できないこと。思わず笑ったのは「ぼくはマシーンでもある」こと。ぼくは まいにちごはんをたべて うんちする。つまりぼくは「うんち製造マシーン」でもある。ほっぺたがやわらかいから「やわらかいものがすきな人をよろこばせるマシーン」でもある。このくだりは最近巷でよく言われる「自己効力感」のことを言っている気がしました。「自己効力感」とは、何かの行為に対して「自分はちゃんとできる、やれている」といった感じ(「自分ならできる」といったセルフイメージ)のことです。人が何か行動を起こそうとするときは、その行動を自分が「できそうか」を考えます。そこで、「できそう」であれば行動を起こしますが、「できなそう」であればなかなか行動には移れません。つまり、同じ事柄に対しても、自己効力感が高い人は「できそうだからやろう」と行動に移ることができるが、自己効力感の低い人は「できそうにない」と思ってやる気も出ず、なかなか行動に移ることができないという傾向があります。成長してほしい人の行動力を上げるには、「自己効力感」を上げなければなりません。ではどうやれば?これは一旦お考え下さい。この絵本は哲学の本といっても過言ではありません。自分のことってわかっているようでわかっていません。最初から自分はこういう性格だ、とかこういう人間だと決め付けて、行動に制限をかけている方が多いような気がします。ニセモノを作ることはないでしょうが、小生も少し時間を作って「自分」とは何なのか?を考えてみたいと思います。

< next >

プロ野球も日米野球が終わり、シーズンオフに入ります。来期、新監督になる球団もありますが、広島緒方新監督や東京ヤクルトの真中監督などは小生よりも年下です。まさか年下のプロ野球監督が誕生する時代になるなんて。しみじみ歳を取ったと感じる今日この頃です。